

提出議案と

審議結果

決算認定議案

決算認定とは、歳入歳出予算の執行の実績である決算について審査し、収入、支出が適法かつ正当に行われたかを確認するものです。9月議会会期中に、決算特別委員会の設置から議決（決算の認定）までを行いました。

決算特別委員会

委員長	鈴木 健夫
副委員長	加藤 大輔
委員	和田 貴弘
委員	松尾万葉香
委員	金子 博
委員	佐藤 真
委員	田中まどか

(議案第51号)

令和元年度日高市一般会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額が18億5千708万6千825円、歳出総額が178億7千394万1千165円で、歳入歳出差引額は、8億8千314万5千660

円である。

(賛成多数で認定)

討論

議案第51号 反対討論

本決算では、歳出に関しては、市民のための施策を講じてきた努力が伺える。例えば、生活困窮者自立支援事業で行われた中学・高校生を対象とした学習教室では、多くの人の連携で参加者数が増加しており、社会的弱者への大切な取り組みと評価できる。

しかし、こうした事業を支える歳入に関しては、昨年10月の消費税及び地方消費税の引き上げによる影響を受けた結果となった。例えば、一般廃棄物処理手数料が一昨年度比で約510万円増の9千828万9千680円となったのは、これが原因の一つであり、国の政策ではあるが、消費税及び地方消費税の引き上げを反映した手数料は、市民に負担増を求めたものとなっている。

以上のことから、本議案に反対する。

議案第51号 賛成討論

本決算は、予算額に対する執行率が92.1%で、令和2年度へ繰り越された事業費を除く執行率では94.7%となっており、適正かつ効率的な予算執行であると認められる。

各事業では、認定こども園の施設整備に対する助成を行った「民間保育園等特別保育支援事業」や笑顔と元気あふれるまちづくりの財源確保に寄与している「まちづくり寄附金事務」などの予算重点施策のほか、台風で被災した公共土木施設の復旧を図る「災害復旧事業」などで大きな成果をあげている。

このように、予算が目的に沿って適正かつ効率的に執行され、健全な財政運営が図られていると判断できる。

(議案第52号)

令和元年度日高市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額が61億9千145万7千343円、歳出総額が61億4千

328万9千919円で、歳入歳出差引額は、4千816万7千424円である。

(賛成多数で認定)

討論

議案第52号 反対討論

本決算の歳入における繰入金は、前年度に比べて、額で4千485万7千352円、率にして11.6%増えている。繰入金金の増額は、一般会計を圧迫する面があるものの、他の社会保険に比べて負担が大きい国民健康保険の負担軽減のために大切な措置と評価できる。

一方で、長期高額疾病の被保険者は増え、診療費用は増加している。また、1人当たりの医療費は、埼玉県の平均を2万3千614円上回る36万5千864円となっている。こうした状況に加え、高齢化の進展と非正規職割合の増加により平均所得が低下している現状に対応し、被保険者の負担と市の財政負担を軽減するためには、根本的に国庫負担を増やす必要があると考えるが、まだ不十分な状況である。

以上のことから、本議案に反対する。

議案第52号 賛成討論

本決算では、1人当たりの医療費の増加により保険給付費の大幅な増加がみられたが、制度改正に伴い県支出金にて医療費が確保されている。被保険者の減少で税収入が減少している中であって、安定した事業運営ができたという評価できる。

以上のことから、本議案に賛成する。

(議案第53号)

令和元年度日高市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額が7億388万8千584円、歳出総額が6億8千935万6千942円で、歳入歳出差引額は、1千453万1千642円である。

(賛成多数で認定)

討論

議案第53号 反対討論

令和元年度分の保険料は、平成28・29年度に比べて均等割額が370円、所得率が0.48%引き下げられたものの、賦課限度額は、5万円引き上げられた62万円であった。

制度の円滑な運用のために、国の責任で十分な財政措